

工作教室

『しろやま』産の竹でつくろう

「しろやま倶楽部」は、三重県環境学習情報センターと連携し、平成28年8月、三重県内の小・中学生を対象に「夏休みこども環境講座」を行ないました。環境紙芝居や竹きり体験に子どもたちは興味深々でした!!

竹きり体験
「もう一回やりたい!!!」



水鉄砲

手作り装置で
土の保水力実験



環境紙芝居、
はじまり、
はじまり~!

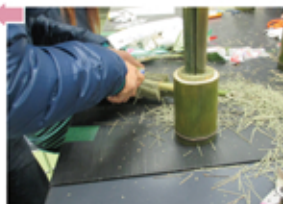


できた!



自分で作った門松で迎えるお正月、
ワクワク♪

市民センターや幼稚園で行っているミニ門松作りは、毎年大好評です。



とび出している稲わらをきれいにカット



三本竹を稲わらでしっかり巻く



稲わらを揃えて

未来の子どもたちへ

「しろやま倶楽部」はモウソウチクに覆われた『しろやま』を前に、かつての豊かな自然を取り戻したいと、現存の木々は保全したまま、枯れ木を整理してきました。

一度荒れてしまった里山を元の姿に戻すまでには多くの人手がかかり、時間もかかりてしまいます。それでも未来を担う子どもたちや地域の人々に森林や環境への理解を深めてもらうことで、身近な自然、身近な里山を地域みんなで守っていききたいと活動を続けてきました。

学校や地域の公民館などで門松づくりなどの工作教室をしたり、お祭りに出展しては竹炭を配ったり、地域の方々とかかわりに多くの時間をかけてきました。そして、今までに約7000個の球根を植え、1500本ほどの植樹もして緑を増やしてきました。その甲斐あって、近頃では四季の花が『しろやま』を彩るようになり、訪れる人の目を楽しませてくれます。

こうした「しろやま倶楽部」の活動により、人が自然にふれる機会が増え、また、自然に近づいた人がさらに人を誘って自然に近づいてくるようになりました。「しろやま倶楽部」が広げた人の輪が、子どもたちの放課後の遊び場、家族での虫とり、散歩や休憩などなど、『しろやま』に足を運ぶ人を増やしてきたのです。

「1年でもほったらかしにしたら、あつという間にもとの荒廃した『しろやま』になっ

てしまう。」そんな危機感を持つからこそ、地域のみなさんに、『しろやま』とつながってほしい。みなさんの目で『しろやま』を見続けてほしい。この『しろやま』のために自分には何ができるだろうかを考えてほしいと、『しろやま倶楽部』は切に願っています。そして、次の世代にバトンを渡す日まで、汗を流し続けます。

「今日はどこで遊んできたん？」

「しろやま♪」

ご家族に報告している子どもたちの姿が目に見えます。

みなさんの身近な自然はどのようなになっていますか。そこにも一生懸命活動している方々がいらつしやるかも知れませんね。

未来の子どもたちへ地域の自然を贈る活動に、みなさんも参加してみませんか。

写真提供

三重西里山を愛する会「しろやま倶楽部」
四日市市立三重西小学校



平成28年8月 三重城山緑地